

パネルディスカッション

1. 出願準備

2017年夏期海外大学院留学説明会 @ 東京大学

2017年7月22日 (土)

進行：上原雅俊

HARVARD UNIVERSITY

DEPARTMENT OF STATISTICS, PH. D.課程進学予定

1. 出願準備

出願に必要なもの①

留学準備スケジュール

出願に必要なもの②

奨学金

まとめ

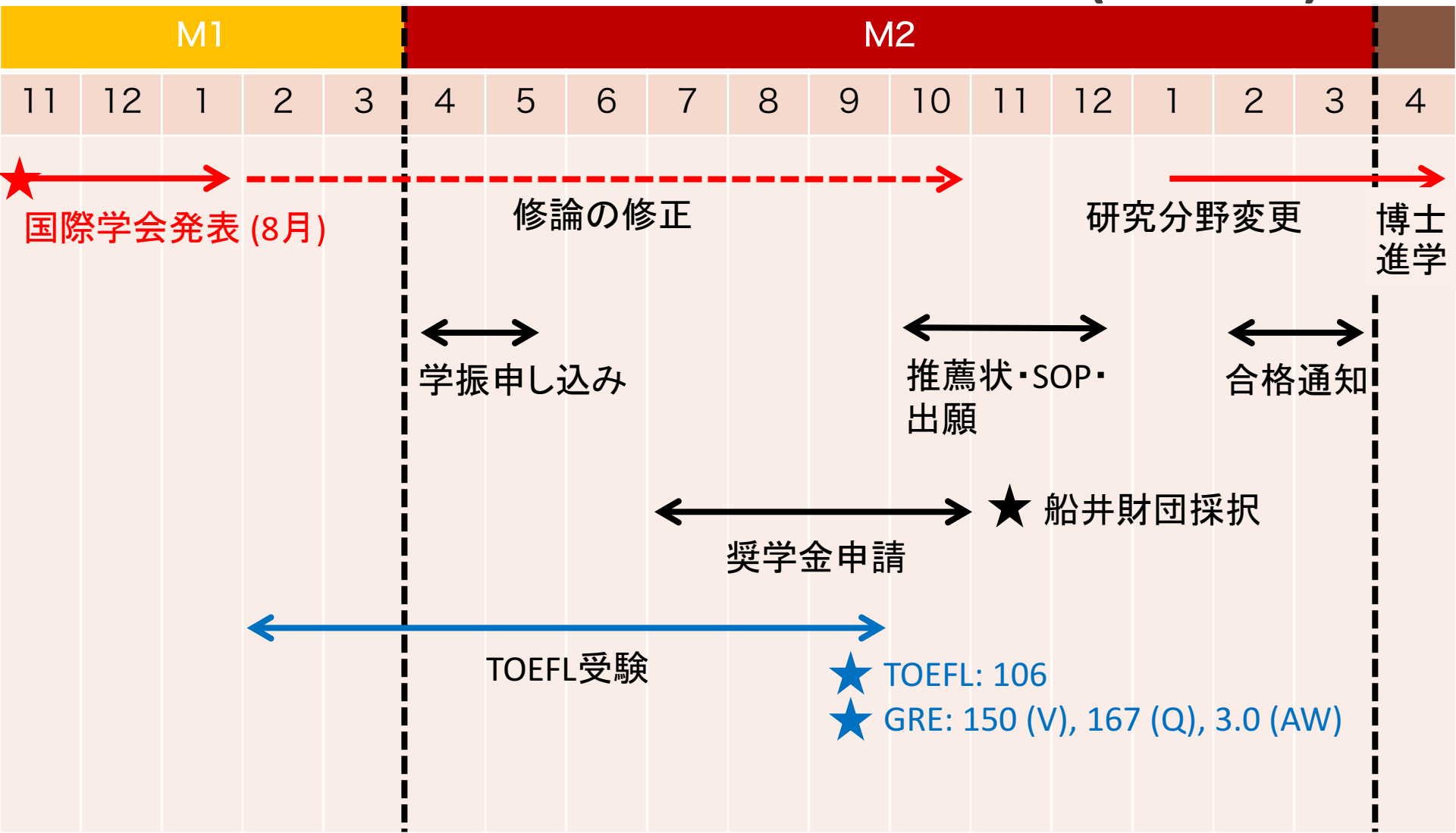
出願に必要なもの①

共通：GPA、TOEFL・GREのスコア、CV、SOP、推薦状、業績など。

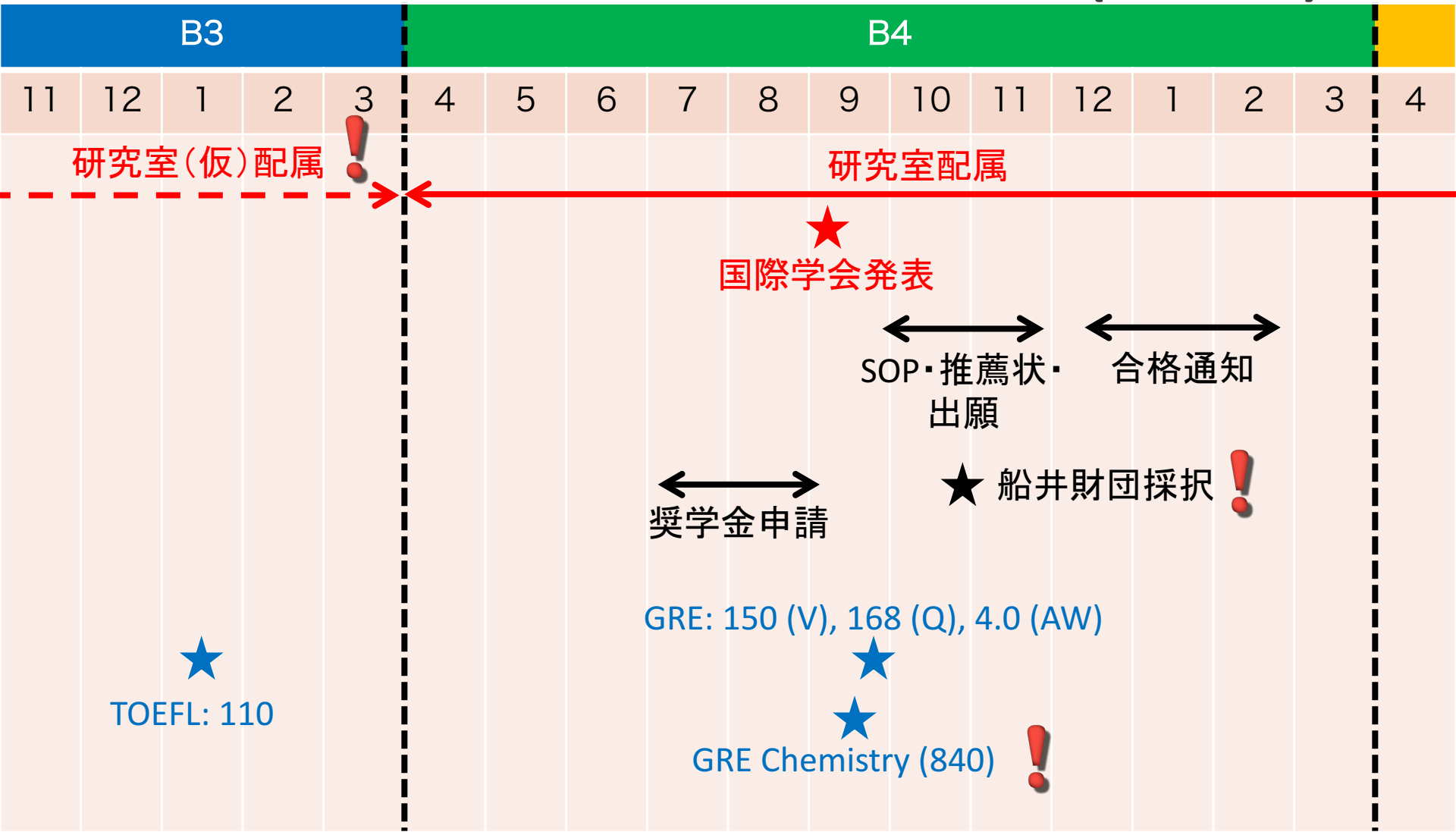
あればいいもの：

- 相談できるメンター
- 奨学金(日本にいる時点で)
- 出願先とのコンタクト
- Writing Sample

留学準備スケジュール (村上)



留学準備スケジュール (吉永)



留学準備スケジュール (渡部)

D1

D2

11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4

なにぶん昔のことなので細かいスケジュールは覚えていない。留学準備の資金作りのために、日本学生支援機構の修士課程在学時の奨学金の返還免除と、学振のDC1を取ることを学部卒業時から狙って長期計画を立てていた。



奨学金申請



出願
(SOP、推薦状、
Writing Sample)



合格通知

出願に必要なもの②

・出願先のコンタクトの必要性？

- 上原：取っていた(だが特に必要ないと思う)
- 高木：取っていないに等しい(特に必要ないと思う)
- 村上：取っていない(必要ないと思う)
- 吉永：一部取っていた(重要だと思ったが、取らずに合格できた大学も)
- 渡部：一部取っていた(出願以前からのつながりのほうが大事)

・推薦状は誰にお願いしたか？

- 上原：論文の共著者、前年度まで学科にいた偉い先生
- 高木：理論演習の先生、ドイツでsummer researchをしていた時の先生、Princetonでshort term researchをしていた時の先生、ゼミ授業の先生
- 村上：学部の指導教官2名、修士の指導教官1名
- 吉永：指導教官、学科の先生、京大の偉い先生
- 渡部：指導教官、長年ゼミに出ていた先生、所属の先輩筋にあたる人でアメリカの大学でPh. D.をとった人



奨学金の獲得

・日本で奨学金をとるメリット

- 金銭的な負担がラクになる (上原、渡部)
- 受かりやすくなる (上原、吉永、高木、村上)
- 交流の輪が増える (上原、吉永)
- 研究室を変えやすくなる (高木)
- TA、RAの免除を留学後に受けられる (村上)



・奨学金は何個応募したか？ 注意点？

- 上原：2個、大学を通じての奨学金は締め切りを守ろう。
- 吉永：6個、申請書全体を通して自分という人間を伝えることを意識。
- 高木：4個、誠意を持って書く。情熱を伝える。
- 村上：4個、推薦状、業績、研究の社会的貢献度。
- 渡部：2個、違うディシプリンの人や非専門家にもわかるように書く。



まとめ

・理想のスケジュール

- GPA、英語力、研究業績 → 思い立ったが吉日
- 試験 (GRE、TOEFL) → 出願年の初夏までに完了

・準備で特に重要だと思うこと

- 上原：論文、推薦状
- 高木：研究をしっかりと示す何か
- 村上：TOEFL、研究業績、推薦状
- 吉永：研究業績、推薦状
- 渡部：自分の戦略を明確にすることとリソースの分配